

## 松下佳代

京都大学高等教育研究開発推進センター教授、博士（教育学）。

京都大学教育学部助手、群馬大学教育学部助教授、京都大学高等教育教授システム開発センター助教授を経て、2004 年より現職。専門は教育方法学。

人はいかにして学ぶのか、能力はどう形成され評価されるのかに関心をもち、初等・中等教育と高等教育の共通性と差異に着目しながら、批判的・実践的研究を進めている。

著作に、『〈新しい能力〉は教育を変えるか—学力・リテラシー・コンピテンシー—』（編著、ミネルヴァ書房、2010 年8月）「学びの評価」（佐伯胖監修・渡部信一編『「学び」の認知科学事典』大修館書店、2010 年1月）、『パフォーマンス評価』（日本標準、2007 年12 月）など。